

奈良市地球温暖化対策地域協議会(略称:NEW)

エコエコサロン「天人五衰の教え」開催報告

◎薬師寺慈恩殿で松久保師の講演

令和元年11月9日午後、NEW エコエコサロンを薬師寺で開催し、NEW の幹事でもある薬師寺執事の松久保伽秀師に「天人五衰の教え」と題して講演をしていただきました。

会場となった慈恩殿は、法相宗の開祖慈恩大師にちなんだ建物で、今年9月に細川護熙元首相が障壁画を奉納されています。日頃は非公開の慈恩殿で美しい障壁画を拝観できる貴重な機会でもあり、参加者 96 名で会場がほぼ満席となる盛況な講演会となりました。



◎天人五衰の教えから

松久保師のお話は、天女や異邦人とともに玄奘三蔵法師や慈恩大師が描かれている障壁画の解説に始まり、仏教の教えでは、天上界、人間界、地獄界などの六道輪廻(生まれ変わり)があるが、たとえ天上界にいても衰えや寿命がある(天人五衰)、すなわち諸行無常(常に変化するもの)であり、諸法無我(自分と他者は切り離せない)であるということでした。

◎子孫のことを思い地球環境を守る行動を

したがって、人生は生まれてから死ぬまでではなく、先祖や子孫ともつながっているのだから、次の世代に何を残すかを考えて行動することが大事であり、エネルギーや環境問題にも通じることだとまとめられました。



◎環境を守る行動の実践へ

その後鼎談形式で、NEW の許斐幹事から地球の人口が爆発的に増加するなかで、私たちは子どもたちに何を残せるのかという問題提起、続いて、黒飛幹事からは、次の世代へつなぐ取組として、薬師寺などに燈明の油を奉納している菜の花プロジェクトの紹介があり、松久保師がこれらを受けて、「学ぶから実践へ」、「変わる→変える→変えなければならないという思い」の重要性を説かれました。

講演後のアンケートでは、「生活を見直す」、「変えなければいけない」、「自他のつながり」などの言葉や多数見られ、講演会の主旨を多くの人に伝えることができました。



文責：NEW 幹事 大川 健